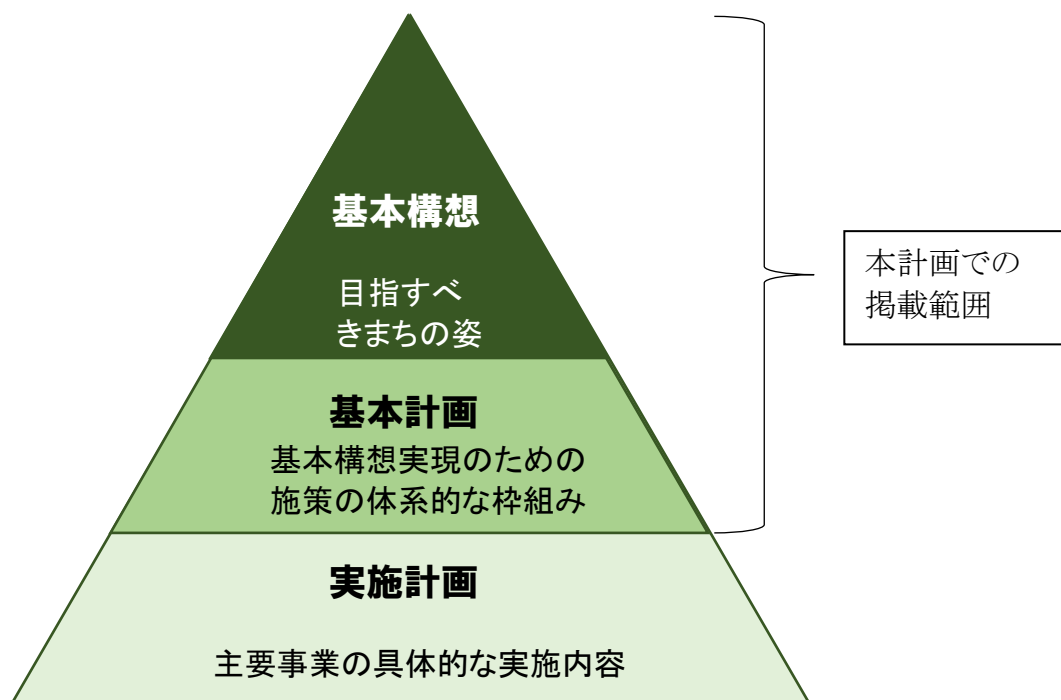


## 和束町第5次総合計画策定にあたって

## 1. 総合計画とは

総合計画とは、町の最上位計画に位置づけられるもので、「基本構想」「基本計画」及び「実施計画」によって構成されます。



### 基本構想

行政運営を総合的かつ計画的に行う指針となるもので、本町の長期的視点からの将来像及びそれを達成するために必要な施策の大綱を明らかにするものです。

「基本構想」の計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間とします。

## 基本計画

「基本構想」に掲げる将来像を実現するためのもので、前期基本計画（令和3年度～令和7年度）として、今後5年間で取り組むべき主要な施策について、その展開の考え方を示すものです。

また、令和8年度から令和12年度までの後記基本計画については、今後の社会経済環境の変化や前期基本計画の施策の進捗状況等を見直した上で策定するものです。

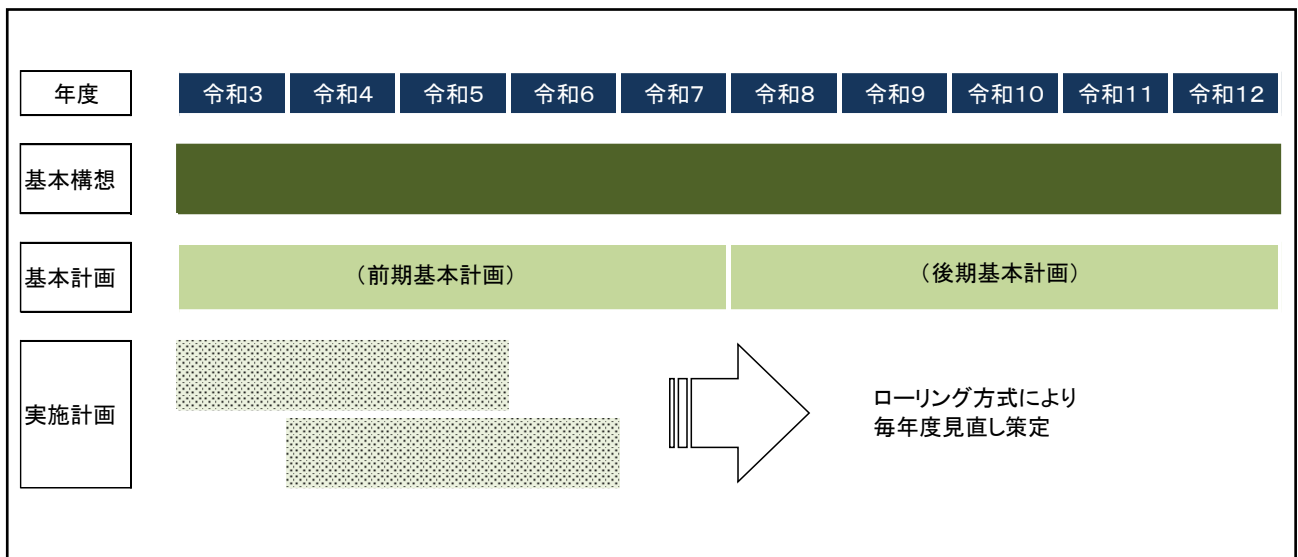
## 実施計画

「基本計画」に示された主要事業の具体的な実施内容を明らかにし、本町における毎年度の予算編成・組織機構・人事計画などの運営方針となるものです。

「基本計画」に掲げられた事業の実効性を担保するため、財政計画との整合を図りながら、具体的な事業内容・財源・実施時期などを示します。

計画期間は3年間とし、毎年度の事業の評価・検証を行いながら見直しをするPDCA\*サイクルにより事業の進行管理を行うこととします。

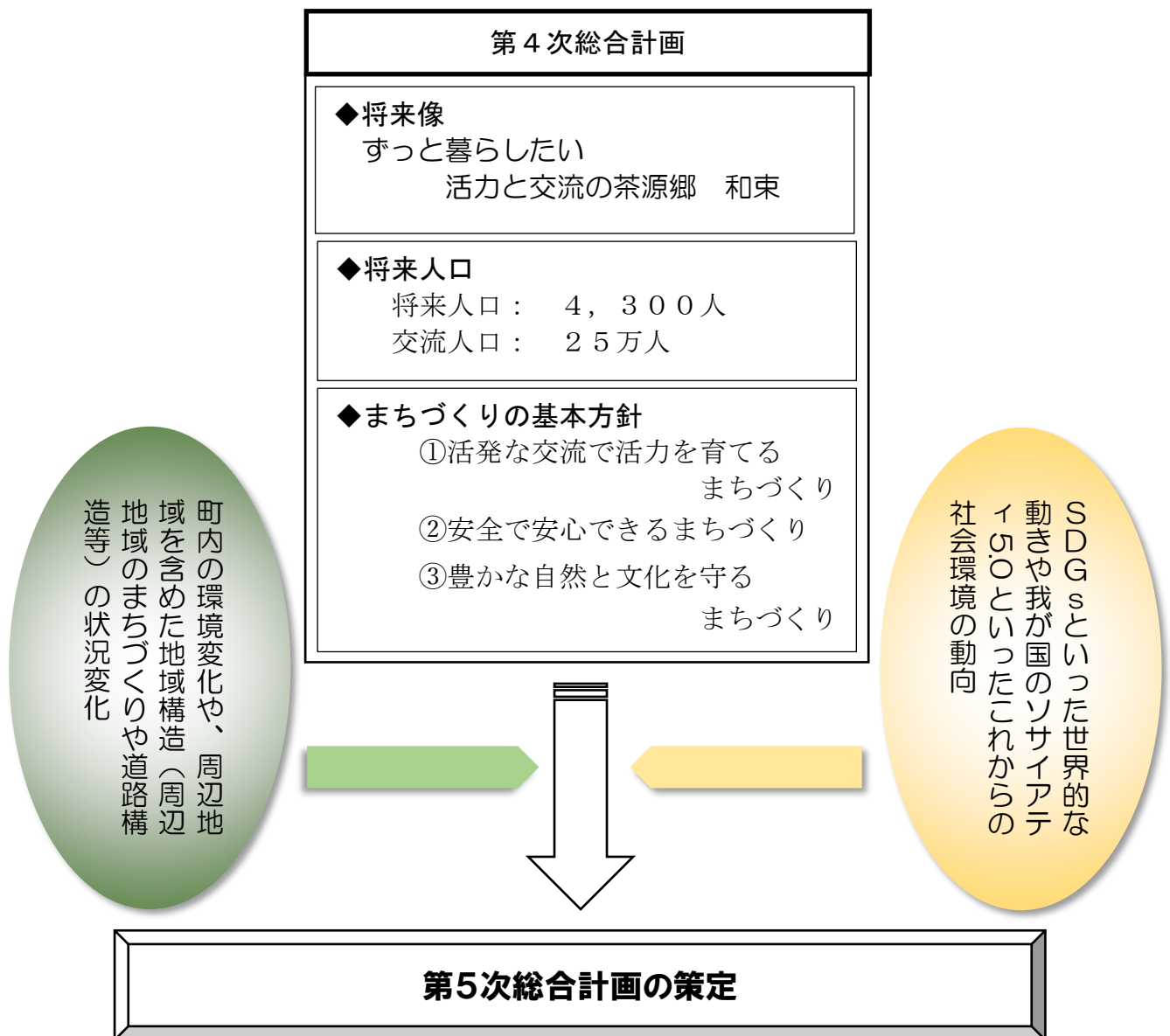
※PDCAとは、Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)を繰り返すことによって、管理業務を継続的に改善していく手法のこと



## 2. 第5次総合計画の位置づけ

本町は、これまで「第4次総合計画」のもと、まちづくりを進めてきました。第5次総合計画は、次の10年間を見通した計画となります。

そこで、第4次総合計画の評価を含め、その後のまちの状況変化や時代の潮流を見据え新たな計画を策定するものです。なお、本計画は「第2期地方創生総合戦略」の検討も含むものです。



※SDGsとは、(Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標))の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で決められた、国際社会共通の17の目標のこと。

※ソサイアティ5.0とは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）のことで、狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、「第5ステージ」の社会のこと。

### 3. 計画策定のための検討の流れ

計画策定にあたっては、次のような検討のプロセスを踏んで検討を重ねていきます。

